



## 2023年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2022年10月27日

上場会社名 株式会社アドバンテスト 上場取引所 東  
 コード番号 6857 URL <https://www.advantest.com/ja/investors/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役兼執行役員社長 (氏名) 吉田 芳明  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼経営執行役員管理本部長 (氏名) 藤田 敦司 TEL 03-3214-7500  
 四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 2022年12月1日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	274,806	46.2	87,916	85.2	95,247	101.5	71,161	101.9	71,161	101.9	87,492	129.8
2022年3月期第2四半期	187,990	30.5	47,476	53.5	47,260	61.2	35,246	43.9	35,246	43.9	38,072	67.5

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	375.50	374.10
2022年3月期第2四半期	179.52	178.60

#### (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	567,270	342,407	342,407	60.4
2022年3月期	494,696	294,621	294,621	59.6

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	50.00	—	70.00	120.00
2023年3月期	—	65.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	550,000	31.9	170,000	48.2	174,000	49.6	130,000	48.9	130,000	48.9

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

詳細は、添付P. 4「(4) 今後の見通し」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	191,542,265株	2022年3月期	199,542,265株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	4,763,246株	2022年3月期	9,634,859株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	189,508,469株	2022年3月期2Q	196,337,662株

(注) 期末自己株式数には、業績連動型株式報酬信託口が保有する当社株式（2023年3月期2Q：162,347株、2022年3月期：425,495株）が含まれております。また期中平均株式数は、株式報酬制度に係る株式を考慮して計算しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本短信には、将来の事象についての、当社の現時点における期待、見積りおよび予測に基づく記述が含まれております。これらの将来の事象に係る記述は、当社における実際の財務状況や活動状況が、当該将来の事象に係る記述によって明示されているものまたは暗示されているものと重要な差異を生じるかもしれないという既知および未知のリスク、不確実性その他の要因が内包されており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

## 添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	P. 2
(1) 経営成績の概況 .....	P. 2
(2) 財政状態の概況 .....	P. 3
(3) キャッシュ・フローの概況 .....	P. 3
(4) 今後の見通し .....	P. 4
2. 要約四半期連結財務諸表および主な注記 .....	P. 5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	P. 5
(2) 要約四半期連結損益計算書および要約四半期連結包括利益計算書 .....	P. 6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	P. 8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	P. 9
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	P. 10
(継続企業の前提に関する注記) .....	P. 10
(セグメント情報) .....	P. 10
2022年度第2四半期決算(連結)の概要 .....	P. 12

## 1. 経営成績等の概況

## (1) 経営成績の概況

当第2四半期連結累計期間(2022年4月1日～2022年9月30日)の状況 (単位:億円)

	2022年3月期 第2四半期連結累計期間	2023年3月期 第2四半期連結累計期間	前年同期比
売上高	1,880	2,748	46.2%
営業利益	475	879	85.2%
税引前四半期利益	473	952	2.0倍
四半期利益	352	712	2.0倍

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、ウクライナ情勢に伴う資源価格の上昇や中国のロックダウンによるサプライチェーンの混乱などから世界的にインフレが進行しました。またインフレを抑制するため、欧米諸国を中心に政策金利が引き上げられました。このような世界経済への下押し圧力の高まりから先行きに対する不透明感が増し、景気後退への懸念がさらに深まりました。

この不透明な世界経済情勢のもと、半導体市場においても、スマートフォンやパソコン、テレビなど主要民生機器向け半導体の需要が減少し、関連する半導体メーカーでは在庫調整や製造装置の投資計画を見直す動きも見られました。民生機器向け半導体の減速感が強まる一方で、社会のデジタル化の進展を支えるデータセンターやAI関連の需要は底堅さを持続し、自動車や産業機器向けなどでは半導体不足が継続するなど、半導体需要はアプリケーションごとにまだら模様を呈しました。

このような環境下、当社顧客の設備投資は総じて高水準に維持された一方、部材不足や物流網の混乱が広範なサプライチェーンに影響を及ぼし、当社の部材調達においても厳しい状況が継続しました。拡大する半導体試験装置需要に対し、当社は部材調達力の強化と需要変動時の柔軟な対応などを通じ売上目標の達成に努めました。

これらの結果、売上高は2,748億円(前年同期比46.2%増)、営業利益は879億円(同85.2%増)、税引前四半期利益は952億円(同2.0倍)、四半期利益は712億円(同2.0倍)となりました。顧客の旺盛な需要と収益性の高い製品の販売比率上昇、円安による増収・増益効果などにより、いずれも上期としての過去最高額を更新しました。当第2四半期連結累計期間の平均為替レートは、米ドルが130円(前年同期110円)、ユーロが137円(同131円)、海外売上比率は97.2%(前年同期96.4%)でした。

セグメントの業績は次のとおりであります。

&lt;半導体・部品テストシステム事業部門&gt; (単位:億円)

	2022年3月期 第2四半期連結累計期間	2023年3月期 第2四半期連結累計期間	前年同期比
売上高	1,274	1,949	53.0%
セグメント利益	436	819	87.8%

当部門では、HPC(ハイ・パフォーマンス・コンピューティング)デバイスやアプリケーション・プロセッサでの一段の微細化や性能向上から、SoC半導体用試験装置において、先端プロセス品向けの売上が大きく伸長しました。また需要が強い自動車・産業機器などの成熟プロセス品向けにおいても、販売が順調に推移しました。メモリ半導体用試験装置についても、メモリ半導体市場は軟調な動きが見られたものの、高性能メモリ半導体向けを中心とした顧客の投資が継続され、当社製品の好調な販売が続きました。

以上により、当部門の売上高は1,949億円(前年同期比53.0%増)、セグメント利益は819億円(同87.8%増)となりました。

## &lt;メカトロニクス関連事業部門&gt;

(単位：億円)

	2022年3月期 第2四半期連結累計期間	2023年3月期 第2四半期連結累計期間	前年同期比
売上高	209	282	34.4%
セグメント利益	30	71	2.4倍

当部門では、半導体試験装置に対する顧客の旺盛な需要を背景に、デバイス・インタフェース製品、テスト・ハンドラの売上がそれぞれ増加しました。利益面においては、主に増収効果が当セグメントの収益性向上に寄与しました。

以上により、当部門の売上高は282億円（前年同期比34.4%増）、セグメント利益は71億円（同2.4倍）となりました。

## &lt;サービス他部門&gt;

(単位：億円)

	2022年3月期 第2四半期連結累計期間	2023年3月期 第2四半期連結累計期間	前年同期比
売上高	397	518	30.4%
セグメント利益	77	77	0.5%

当部門では、堅調なデータセンター投資やスマートフォンの高性能化を背景に、システムレベルテスト製品の売上が伸長しました。また当社製品の設置台数が拡大する中、保守サービスの売上も堅調でした。しかしながら製品ミックスの影響により、当セグメントの利益額は前年同期と同水準にとどまりました。

以上により、当部門の売上高は518億円（前年同期比30.4%増）、セグメント利益は77億円（同0.5%増）となりました。

## (2) 財政状態の概況

当第2四半期末の総資産は、棚卸資産が382億円、のれんおよび無形資産が191億円、有形固定資産が71億円それぞれ増加したことなどにより、前年度末比726億円増加の5,673億円となりました。負債合計は、営業債務およびその他の債務が110億円、借入金が57億円、繰延税金負債が26億円それぞれ増加したことなどにより、前年度末比248億円増加の2,249億円となりました。また、資本合計は3,424億円となり、親会社所有者帰属持分比率は前年度末比0.8ポイント増加の60.4%となりました。

## (3) キャッシュ・フローの概況

当第2四半期末における現金および現金同等物は、前年度末より17億円減少し、1,149億円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期利益952億円を計上したことに加え、棚卸資産の増加（△345億円）、法人所得税の支払額（△254億円）に減価償却費などの非資金項目等の損益を調整した結果、464億円の収入（前年同期は、404億円の収入）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、130億円の支出（前年同期は、87億円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得（△94億円）と子会社の取得（△35億円）によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、421億円の支出（前年同期は、345億円の支出）となりました。これは主に、自己株式の取得による支出（△273億円）と配当金の支払（△133億円）によるものであります。

(4) 今後の見通し

今後の当社を取り巻く市場環境を展望しますと、米国による中国向け輸出規制の強化、地政学的リスクの拡大懸念、インフレ進行や金利上昇などの世界経済を下押しするリスクの増大など、事業環境の先行き不透明感がさらに高まっています。このような市場環境のもと、スマートフォンやパソコンなど民生品の最終需要が一層弱含む動きも観測されます。その一方で半導体が扱うデータ処理量と通信量の増加や自動車の電動化加速に伴う半導体需要の拡大と半導体の高機能化は継続的に進められており、景気後退に伴う半導体数量の減少を下支えするものと想定されます。また、長期的にはメタバースなどのデジタル革命を体現するアプリケーションの拡大や地球温暖化対策においてカーボンニュートラル対応の社会的要求が高まっていることを背景に、エネルギー効率改善を実現する半導体技術の重要度も増しています。これらを勘案すると、足元では民生品向け半導体の試験装置需要の減退が見られるものの、高性能半導体の技術進展に伴う半導体試験装置需要がこれを補うものと期待されます。

上記の通り、先行き不透明感が高まっていることに鑑み、当連結会計年度の通期連結業績予想は、売上高5,500億円、営業利益1,700億円、税引前利益1,740億円、当期利益1,300億円と2022年7月に公表した予想を据え置きます。また下期業績予想の為替前提も、米ドルが130円、ユーロが140円と同様に据え置きます。

新型コロナウイルス感染症やウクライナ情勢に関して、当第2四半期連結累計期間の当社業績に対する直接的な影響は軽微なものと認識しています。しかしながら、上述の通り地政学的リスク拡大や景気後退への懸念の高まりなどから、当社を取り巻く事業環境は不確実性を増しています。引き続き部材調達安定化を図るとともに、外部環境の変化に十分に注意を払い機動的に対応してまいります。

## 2. 要約四半期連結財務諸表および主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産</b>		
流動資産		
現金および現金同等物	116,582	114,926
営業債権およびその他の債権	82,155	85,863
棚卸資産	95,013	133,217
その他の流動資産	11,007	15,783
(小計)	304,757	349,789
売却目的で保有する資産	188	—
流動資産合計	304,945	349,789
非流動資産		
有形固定資産	51,392	58,458
使用権資産	12,645	12,735
のれんおよび無形資産	85,307	104,385
その他の金融資産	14,565	14,998
繰延税金資産	25,494	26,333
その他の非流動資産	348	572
非流動資産合計	189,751	217,481
資産合計	494,696	567,270
<b>負債および資本</b>		
<b>負債</b>		
流動負債		
営業債務およびその他の債務	70,352	81,368
借入金	18,359	21,829
未払法人所得税	26,814	27,370
引当金	6,536	7,715
リース負債	2,918	3,149
その他の金融負債	3,276	5,314
その他の流動負債	22,627	24,444
流動負債合計	150,882	171,189
非流動負債		
借入金	12,239	14,481
リース負債	9,947	9,798
退職給付に係る負債	22,341	21,920
繰延税金負債	3,445	6,043
その他の非流動負債	1,221	1,432
非流動負債合計	49,193	53,674
負債合計	200,075	224,863
<b>資本</b>		
資本金	32,363	32,363
資本剰余金	44,995	44,265
自己株式	△81,547	△38,942
利益剰余金	279,828	269,408
その他の資本の構成要素	18,982	35,313
親会社の所有者に帰属する持分合計	294,621	342,407
資本合計	294,621	342,407
負債および資本合計	494,696	567,270

## (2) 要約四半期連結損益計算書および要約四半期連結包括利益計算書

(要約四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	187,990	274,806
売上原価	△83,237	△116,046
売上総利益	104,753	158,760
販売費および一般管理費	△57,071	△71,022
その他の収益	344	366
その他の費用	△550	△188
営業利益	47,476	87,916
金融収益	33	7,917
金融費用	△249	△586
税引前四半期利益	47,260	95,247
法人所得税費用	△12,014	△24,086
四半期利益	35,246	71,161
四半期利益の帰属 親会社の所有者	35,246	71,161
1株当たり四半期利益		
基本的	179.52円	375.50円
希薄化後	178.60円	374.10円

(第2四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)
売上高	90,874	138,863
売上原価	△40,866	△59,022
売上総利益	50,008	79,841
販売費および一般管理費	△28,801	△36,998
その他の収益	181	307
その他の費用	△37	△17
営業利益	21,351	43,133
金融収益	202	3,925
金融費用	△34	△227
税引前四半期利益	21,519	46,831
法人所得税費用	△5,617	△12,166
四半期利益	15,902	34,665
四半期利益の帰属 親会社の所有者	15,902	34,665
1株当たり四半期利益		
基本的	81.08円	183.34円
希薄化後	80.72円	182.77円



## (要約四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期利益	35,246	71,161
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産の公正価値の純変動	1,985	△1,411
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	841	17,742
税引後その他の包括利益	2,826	16,331
四半期包括利益	38,072	87,492
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	38,072	87,492

(第2四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)
四半期利益	15,902	34,665
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産の公正価値の純変動	1,713	1,314
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	582	5,445
税引後その他の包括利益	2,295	6,759
四半期包括利益	18,197	41,424
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	18,197	41,424

## (3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	資本合計
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の 資本の 構成要素		
2021年4月1日 残高	32,363	44,573	△15,001	214,858	3,576	280,369	280,369
四半期利益				35,246		35,246	35,246
その他の包括利益					2,826	2,826	2,826
四半期包括利益	—	—	—	35,246	2,826	38,072	38,072
自己株式の取得		△1	△17,760			△17,761	△17,761
自己株式の処分		△978	1,963	△468		517	517
自己株式の消却			66	△66		—	—
配当金				△15,715		△15,715	△15,715
株式に基づく報酬取引		642				642	642
その他				5		5	5
所有者との取引額等合計	—	△337	△15,731	△16,244	—	△32,312	△32,312
2021年9月30日 残高	32,363	44,236	△30,732	233,860	6,402	286,129	286,129

当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	資本合計
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の 資本の 構成要素		
2022年4月1日 残高	32,363	44,995	△81,547	279,828	18,982	294,621	294,621
四半期利益				71,161		71,161	71,161
その他の包括利益					16,331	16,331	16,331
四半期包括利益	—	—	—	71,161	16,331	87,492	87,492
自己株式の取得		△2	△27,273			△27,275	△27,275
自己株式の処分		△1,542	1,599	△8		49	49
自己株式の消却			68,279	△68,279		—	—
配当金				△13,294		△13,294	△13,294
株式に基づく報酬取引		814				814	814
所有者との取引額等合計	—	△730	42,605	△81,581	—	△39,706	△39,706
2022年9月30日 残高	32,363	44,265	△38,942	269,408	35,313	342,407	342,407

## (4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	47,260	95,247
減価償却費および償却費	6,951	9,903
営業債権およびその他の債権の増減額 (△は増加)	1,668	2,382
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△11,382	△34,460
営業債務およびその他の債務の増減額 (△は減少)	△2,564	8,046
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	520	1,138
前受金の増減額 (△は減少)	5,456	567
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△984	△907
その他	1,989	△10,036
小計	48,914	71,880
利息および配当金の受取額	35	88
利息の支払額	△72	△117
法人所得税の支払額	△8,432	△25,413
営業活動によるキャッシュ・フロー 計	40,445	46,438
投資活動によるキャッシュ・フロー		
負債性金融資産の売却による収入	124	—
資本性金融商品の取得による支出	△881	—
有形固定資産の取得による支出	△7,461	△9,416
無形資産の取得による支出	△343	△363
子会社の取得による支出	—	△3,502
その他	△143	307
投資活動によるキャッシュ・フロー 計	△8,704	△12,974
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の処分による収入	506	15
自己株式の取得による支出	△18,006	△27,276
配当金の支払額	△15,701	△13,281
リース負債の返済による支出	△1,263	△1,530
その他	—	△4
財務活動によるキャッシュ・フロー 計	△34,464	△42,076
現金および現金同等物に係る換算差額	275	6,956
現金および現金同等物の純増減額 (△は減少)	△2,448	△1,656
現金および現金同等物の期首残高	149,164	116,582
現金および現金同等物の四半期末残高	146,716	114,926

## (5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

(単位:百万円)

	半導体・部品 テスト システム事業	メカトロ ニクス関連 事業	サービス他	消去または 全社	連結
売上高					
外部顧客への売上高	127,312	20,944	39,734	—	187,990
セグメント間の売上高	48	—	—	△48	—
合計	127,360	20,944	39,734	△48	187,990
セグメント利益 (調整前営業利益)	43,596	2,997	7,698	△6,062	48,229
(調整) 株式報酬費用	—	—	—	—	△753
営業利益	—	—	—	—	47,476
金融収益	—	—	—	—	33
金融費用	—	—	—	—	△249
税引前四半期利益	—	—	—	—	47,260

当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(単位:百万円)

	半導体・部品 テスト システム事業	メカトロ ニクス関連 事業	サービス他	消去または 全社	連結
売上高					
外部顧客への売上高	194,849	28,153	51,804	—	274,806
セグメント間の売上高	20	—	—	△20	—
合計	194,869	28,153	51,804	△20	274,806
セグメント利益 (調整前営業利益)	81,882	7,062	7,737	△8,030	88,651
(調整) 株式報酬費用	—	—	—	—	△735
営業利益	—	—	—	—	87,916
金融収益	—	—	—	—	7,917
金融費用	—	—	—	—	△586
税引前四半期利益	—	—	—	—	95,247

前第2四半期連結会計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年9月30日)

(単位:百万円)

	半導体・部品 テスト システム事業	メカトロ ニクス関連 事業	サービス他	消去または 全社	連結
売上高					
外部顧客への売上高	60,014	9,481	21,379	—	90,874
セグメント間の売上高	28	—	—	△28	—
合計	60,042	9,481	21,379	△28	90,874
セグメント利益 (調整前営業利益)	19,202	999	4,453	△2,877	21,777
(調整) 株式報酬費用	—	—	—	—	△426
営業利益	—	—	—	—	21,351
金融収益	—	—	—	—	202
金融費用	—	—	—	—	△34
税引前四半期利益	—	—	—	—	21,519

当第2四半期連結会計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)

(単位:百万円)

	半導体・部品 テスト システム事業	メカトロ ニクス関連 事業	サービス他	消去または 全社	連結
売上高					
外部顧客への売上高	98,787	12,727	27,349	—	138,863
セグメント間の売上高	—	—	—	—	—
合計	98,787	12,727	27,349	—	138,863
セグメント利益 (調整前営業利益)	41,148	2,511	3,878	△4,022	43,515
(調整) 株式報酬費用	—	—	—	—	△382
営業利益	—	—	—	—	43,133
金融収益	—	—	—	—	3,925
金融費用	—	—	—	—	△227
税引前四半期利益	—	—	—	—	46,831

- (注) 1. 当社グループは、株式報酬費用調整前営業利益 (△損失) をマネジメントによる事業別セグメントの評価等に使用しております。
2. 株式報酬費用は、ストック・オプション、業績連動型株式報酬および譲渡制限付株式報酬の費用であります。
3. 報告セグメントの利益は、株式報酬費用調整前営業利益 (△損失) をベースとしております。
4. セグメント間の売上高は市場実勢価格に基づいております。
5. 全社に含まれるセグメント利益への調整は、主として全社一般管理費および事業セグメントに割り当てられていない基礎的研究活動に関連する研究開発費であります。

## 2022年度第2四半期 決算（連結）の概要

### 1. 損益

（単位：億円）

	2021年度実績	2022年度実績					2022年度業績予想	
		1 Q	2 Q	1 Q比	2 Q累計	前年同期比	通期	前年度比
売上高	4,169	1,359	1,389	2.1%	2,748	46.2%	(5,500)	31.9%
売上原価	△1,810	△570	△590	3.5%	△1,160	39.4%	—	—
販売費および一般管理費	△1,212	△340	△371	8.7%	△711	24.4%	—	—
その他の収益・費用	0	△1	3	—	2	—	—	—
営業利益 （売上高比率）	1,147 (27.5%)	448 (32.9%)	431 (31.1%)	△3.7%	879 (32.0%)	85.2%	(1,700) 1,700 (30.9%)	48.2%
金融収益・金融費用	16	36	37	1.8%	73	—	—	—
税引前当期利益 （売上高比率）	1,163 (27.9%)	484 (35.6%)	468 (33.7%)	△3.3%	952 (34.7%)	2.0倍	(1,740) 1,740 (31.6%)	49.6%
法人所得税費用	△290	△119	△121	2.1%	△240	2.0倍	—	—
当期利益 （売上高比率）	873 (20.9%)	365 (26.8%)	347 (25.0%)	△5.0%	712 (25.9%)	2.0倍	(1,300) 1,300 (23.6%)	48.9%

（注）上段（ ）の数値は、2022年7月28日発表時の予想であります。

### 2. 財政状態

（単位：億円）

	2021年度実績	2022年度実績		
	4 Q末	1 Q末	2 Q末	1 Q比
総資産	4,947	5,311	5,673	6.8%
親会社の所有者に 帰属する持分合計	2,946	3,279	3,424	4.4%
親会社所有者帰属持分比率	59.6%	61.7%	60.4%	—

### 3. 配当の状況

（単位：円）

(基準日)	2021年度実績			2022年度		
	中間期末	期末	年間	中間期末	期末(予想)	年間(予想)
1株当たり配当金	50.00	70.00	120.00	(65.00) 65.00	未定	未定

（注）1. 上段（ ）の数値は、2022年7月28日発表時の予想であります。

2022年度中間配当については、本日公表の「剰余金の配当（中間配当）に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 現時点では2022年度の期末配当については未定です。今後の業績等を勘案し、可能となった時点で速やかに開示する予定です。